

【Insectopia（インセクトピア）】とは： insect（虫）と utopia（理想郷）を掛け合わせた造語  
『蟲たちを含む、地球上に生きる全ての仲間が快適に生きることができる世界』を創るため、SHELLグループがお届けする情報発信ニュースレター。



## 増加するネズミ被害と私たちの暮らし

近年、都市部を中心にネズミによる被害が深刻化しつつあり、“都市”の衛生管理が重要な課題となっています。衛生面や経済的損失といった多方面に及ぶリスクを抱える中、知っておくべき“ネズミ問題”の現状とその対策についてお伝えします。

### ネズミ被害の現状と急増する背景

都市部を中心にネズミの被害が拡大しています。東京都ペストコントロール協会に寄せられたネズミ被害の相談件数は、2013年の1,860件から2023年には3,629件へと、約2倍に増加しました。

その背景として、コロナ禍収束後に増えたインバウンド観光客によるゴミのポイ捨てや、飲食店の増加に伴う生ゴミ量の増加が挙げられます。また、住宅やビルも増え、さらに都市化が進み、ネズミの生息場所が広がっていることも大きな要因とされています。

### 飲食店におけるネズミ被害のリスク

ネズミの増加により特に影響を受けやすいのが飲食店です。昨今、ネズミの被害やトラブルが相次いで報道されています。飲食店における主なリスクは以下のとおりです。

#### ・健康被害

ネズミはさまざまな病原菌を保有しており、感染症の原因となるリスクがあります。

#### ・風評被害

異物混入が発覚すると、その情報が拡散し、店舗の評判に大きな打撃を与えます。

#### ・経済的損失

営業停止や損害賠償、風評被害による売上減少など、多大な経済的影響を受ける恐れがあります。

飲食店におけるネズミの完全な排除は難しいものの、被害を最小限に抑えるために、事業者と自治体が協力して日常的な対策を講じることが重要です。

### 自治体によるネズミ対策の事例

#### ・千代田区

飲食店に対し、ごみを蓋付き容器で出すことを条例化。

#### ・豊島区

繁華街を中心にドブネズミ対策を推進。生ゴミの適切な出し方やポイ捨て防止を啓発。

#### ・新宿区

啓発ポスターの掲示やネズミ対策資材の無料配布、ゴミ出しルールの徹底などを実施。

### 私たちにできる日常の対策

ネズミ被害を抑えるには、防鼠対策の徹底が不可欠です。家庭や店舗では、清潔な環境の維持や、ネズミの通り道となる隙間・穴の封鎖といった予防措置が重要です。また、被害の兆候が見られた場合は、無理に自己対応せず、早めに専門業者へ相談し、迅速かつ確実な対処を行うことが大切です。

シェルグループは、創立から65年にわたり培ってきたペストコントロールの知見と現場経験を活かし、防虫・防鼠対策の新たな可能性を切り拓いています。

👉 [ネズミ対策にお困りの方はこちらをご覧ください](#)



## 害蟲展season6 開催！

昨年5周年を迎えた害蟲展。おかげさまで今年も開催することが決定しました！  
 今年は東京、大阪の2拠点での開催で、期間を延長するなど、より多くの方々にご来場いただけるよう準備を進めています。10周年に向けて歩み始めた害蟲展season6をどうぞよろしくお願いいたします。

### 害蟲展とは

アートを通して地球上に住まう人間と生物の在りかたを考え、新しい関係を創造するムーブメントを創出できるひとつのきっかけとして8thCAL株式会社が主催する展示会です。人間にとって「不都合」「不快」「不利益」な一面だけに目が行ってしまいがちな、いわゆる「害虫や害獣」の美しい点・有益な側面・生命の循環や存在次元に焦点を当てて制作された作品を広く公募、展示をしています。



### スポンサー募集中！

害蟲展では、取り組みにご賛同いただけるスポンサー企業様を広く募集しております。

👉 [season5のスポンサー企業様一覧はこちら](#)

皆さまのご協力を、心よりお待ちしております。

👉 [ご登録はこちら](#)



### 審査員紹介

今年も昨年に引き続き、各分野で活躍されている素晴らしい審査員の皆さまにご参加いただけます。敬称略

- ・丸山 宗利（昆虫学者）
- ・舘野 鴻（画家・絵本作家）
- ・満田 晴穂（自在置物作家）
- ・中峰 空（箕面公園昆虫館 館長）
- ・服部 雄二（株式会社ベモレー 代表）
- ・岡部 美楠子（8thCAL株式会社 代表）

### 作品募集締め切り間近！

エントリー & 1次審査資料提出期間

2025年2月3日(月)～2025年6月9日(月)17時 締切

👉 [お申込みはこちら](#)

## 今月のInsect



写真/解説  
中峰 空  
8thCAL技術顧問  
箕面公園昆虫館館長



### ヨウロウヒラクチハバチ

（養老平口葉蜂）

ハチ目コンボウハバチ科

学名：Leptocimbex yorofui

ハバチ・キバチ類（広腰亜目）は原始的なハチの一群で、毒針を持たないので刺すことができない。ヨウロウヒラクチハバチのオスは大きな複眼、平たい顔面と大きく発達した大顎を持つ。5～6月ごろに幼虫の寄主植物であるモミジ類やその近隣の林冠に独特の姿でとり、テリトリーを張る様子が観察される。

## Information

- Pick up 展示会情報  
害蟲展season6 開催決定！  
※8thCAL主催の公募展です

公式HP



害蟲展X



害蟲展Instagram



GAICHUTEN

- 「トコジラぬ」トピックス情報

「トコジラミ白書2025」リリース！

→ <https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000023.000082097.html>

予防×駆除サービスの特設サイト「トコジラぬ」を設置しています！

→ <https://ur0.jp/vd5EN>

### Insectopia インセクトピアの配信登録はこちらから！

QRコードを読み取り後、登録フォームよりご登録ください。  
 ニュースリリースや採用情報、イベントなどの最新情報を配信中です。

